

授業科目名	旅行者心理学	担当教員	直井 岳人
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第3クォーター		
講義内容	観光旅行者心理の観点から、観光旅行者行動が生起する仕組みを理論的に学ぶ。講義では、テーマを旅行前・中・後に段階を分け、旅行前は観光旅行者の動機・観光イメージ・訪問意思決定、旅行中は環境と人間の相互関係・環境配慮行動、旅行後は再訪意向について学ぶ。特に、観光地と観光者を別個にのみ扱うのではなく、観光旅行者動機（プッシュ）と観光地特性の知覚（プル）の枠組みに基づき、観光旅行者心理の視点から見た彼らと観光目的地環境の相互関係に焦点を当てるのが本講義の特徴である。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光旅行者の動機を類型化し、測定できる</li> <li>・観光地イメージを類型化し、測定できる</li> <li>・観光旅行者心理に影響を与える観光地環境要因を類型化し、その影響を測定できる</li> <li>・観光者の行動意向（観光地選択、再訪、環境配慮行動）を促進する要因を説明できる</li> </ul>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション：観光心理学の学術的位置づけ</li> <li>2. 観光者の動機：プッシュ動機とプル動機</li> <li>3. 観光者の動機：非日常性</li> <li>4. 観光地評価／イメージ：観光地イメージの構成要素</li> <li>5. 観光地評価／イメージ：観光地イメージの形成</li> <li>6. 観光地訪問行動：観光旅行の類型</li> <li>7. 観光地訪問行動：観光地選択モデル</li> <li>8. 観光における人間と環境の関係：人間－環境系研究</li> <li>9. 観光地における社会的に望ましい行動：観光者の環境配慮行動意向</li> <li>10. 観光地再訪意向：観光旅行者満足度の形成</li> <li>11. 観光地再訪意向：観光地ロイヤルティの形成</li> <li>12. 観光旅行者に関する心理学的研究の展望</li> </ol>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習に関しては、次回の授業のキーワードについて、参考文献を参照し、意味を理解しておくこと。</li> <li>・復習に関しては、主要概念に関する理解度を問う小クイズ（問い）を出題するので、回答すること（提出方法は別途指示）。</li> </ul>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐々木土師二（2007）観光旅行の心理学 北大路書房</li> <li>・橋本俊哉（編著）観光行動論 原書房</li> <li>・日本建築学会（編）よりよい環境創造の為の環境心理調査手法入門 技法堂出版</li> </ul>		
成績評価の基準	定期試験（80%）、小クイズへの回答（20%）を基に評価する。定期試験では、講義中に説明した概念とその測定（質問）方法（解析までは踏み込まない）に関する理解について評価する。小クイズでは主要概念に関する理解について評価する。		

履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	「第3クォーターの定員超過科目選考」前までの履修登録者が50名を超える場合は、抽選により履修者50名を決定する。その際、「第3クォーターの定員超過科目選考」前までに授業に出席している学生を優先する。